

はじめに

昔から恋愛の話をすると「本書けるぐらい破天荒だね」と言われてきました。

「離婚は夫婦間のことだからわからないけども離婚を3回もするのは人間的に問題があるんじゃないの？」と言われたことも。付き合ってみても気がつけばいつも二股。そうじゃなければ束縛の強い人。よく胃袋掴むと男は戻ってくると言われていますが……そんなことはない。戻らないものは戻らないんです。

仕事も接客業が中心でいろいろな人を見てきました。コロナ禍(COVID-19)でカウンターにアクリル板がつきマスクもしているので注文も聞き取りづらく、お客様の声も小さかったり、何度も聞きなおすと不機嫌に「そんなに聞こえないの？」と言われたり、たまたまその日の機嫌が悪かったのか商品をむしり取るように持っていく人がいたり、他人に優しくないなと思います。

それでもWワークをこなしてきたのは子どもを育てるため。そんな子どもも就職し、

働いています。肩の荷が下りたのと同時に目標がなくなったりもしました。生活のため、お金を稼ぐために11時から15時まで某ファストフードでアルバイト、19時から1時までB A Rと休みもあるんだかないんだかの状態を4年続けてきました。

「風の時代」と言われ働き方が変わってきている中自分の好きなことでお金を稼ごうという人が増えています。しかし、何年も培った「〇〇であるべき」という体制が抜けず。副業でコンスタントに売れるようになったら仕事を辞めよう。生活スタイルは変えられないから副業が忙しくなったら辞めよう。こんなことをしていたらいつまでたっても好きなことを仕事にしていく生活はできないということに気づきました。

コロナ禍で飲食店の営業時間が短縮になり家にいる時間が多くなったのもきっかけではあります。でも一番はB A Rのオーナー様との関係性が悪いということ。コロナ禍でもありがたいことに営業はできたのですが、私のストレスが酷すぎて、体調に支障をきたすようになりました。でもやはり正社員で雇っていただいている以上辞める勇気がありません。体調が悪いなりにも続けるしか方法はありませんでした。

それでもコロナ禍の中で時間もありませんでしたので興味のある講座やセミナー・コンサ
ルを受講しました。良い悪い、合う合わないもありましたがライトワーカーとしての
基礎と指導はできるようになりました。

今生きづらい思いをされている方、小さい子どもを抱えて必死に耐えている方、職
場の人間関係、家族・夫婦の問題・生きる目標を見失っている方の目印になりたいと
思います。

人は何歳からでも変われます。その勇気の後押しになりますようにこの本で気づき
のきっかけになっていただければ幸いです。